

Keep the Peace Constitution
Strongly against "remilitarization"

The Kirisuto Shim bun **KiriShin**

2.1

Feb 01.2024 No.3662

発行所：キリスト新聞社 〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 キリスト教文書センタービル4階
TEL03-5579-2432 FAX03-5579-2433 振替口座：00180-4-196016 URL：<http://www.kirishin.com>

1部定価500円(本体455円) ©キリスト新聞社2024
予約購読料(税込) 半年8,900円 1年17,700円



門前聖書教会のブルース・トラス宣教師夫妻に救援物資を届ける近藤高史さん（写真左）



▲門前市での炊き出し

ハンガーゼロ総主事 近藤高史さん

能登半島地震から1ヶ月。今も1万人以上が不自由な避難生活を強いられ、段階的に二次避難へと移行する人々も増え始めている。道路の寸断、悪天候などにより復旧作業が滞る中、直後から現地で支援活動を続ける教会、団体関係者に、現地の様子や今後の見通しについて話を聞いた。初回はハンガーゼロ総主事の近藤高史さん。

——被災地から戻られ、今どのようなことを感じていますか？

近藤 震災発生時、実家の名古屋に帰省しており、そこからすぐに東海福音フェローシップ（TEF）災害対策委員会と合流し、被災地に駆けつけました。今回は、地震の規模がとても大きく、また被災した場所は高齢者が多く住む過疎地であるため、支援活動はかなり難しい状況だと考えています。

——ハンガーゼロはこれまで、ウクライナも含め、さまざまな支援の現場へ赴いておられます。今回の被災地の特徴などがあれば教えてください。

(2面につづく)

「教会とのつながりを支援の強みに」

能登半島地震緊急募金

- 緊急支援チームを派遣中！
- 物資支援や炊き出しなど

HungerZero



Feature column-01

能登半島地震 現地レポート&インタビュー

『教会とのつながりを支援の強みに』

ハンガーゼロ総主事 近藤高史さん

News/Topics-03

朝祷会年頭集会に全国から牧師ら集う

Series/Book review-04

宗教リテラシー向上委員会「宗教リテラシーとは何か(6)」川島堅二

書評『津和野乙女峠37人の「証し人』

この世界の片隅から「殺す福音か、生かす福音か」洪伊杓

地方からの挑戦「婦人会解消、その後…」

Announcement-06

北村慈郎牧師支援コンサート

Information/TV/Radio-11

「信教の自由を守る日」2・11集会ほか

Magazine review-12

『福音宣教』『福音と世界』『BIBLE & LIFE
百万人の福音』

「世界食料デー」でのつながり生かせた △教会は災害時の拠点となる機能を持っている。

近藤 能登半島地震の被災地は過酷な状態にあります。能登半島はかなり広く、被災している町々が離れ、かつ道路が寸断されてしまっている。さらに降雪によって行けるはずの場所に行くことができない。積雪が道路の陥没などを隠し、まだ進むのが非常に危険な場所もあります。こういったことが、今回の災害支援を難しくしている点だと考えています。

被害の状況も地域によって差があります。珠洲市は被害がひどいとされていますが、孤立している集落ごとに被害の違いがあります。一方輪島市は、町中心部も火災を含め大きく被災してしまって、市街地で200件もの建物が崩壊しています。輪島市門前町では2007年にも大きな地震を経験している地元の人たちですが、「こんな激しい地震を経験したことは今までない。また能登町の自衛隊による仮設風呂で一緒になったご老人はまさか自分がこんな被災者となって避難所で生活すると思わなかった」と話してくれました。

——支援物資は行き渡っていますか？

近藤 物資はある程度行き渡っていると思います。行政のほうで所在地が確認できていれば、食料などは届けられています。ただ、安否不明者もいますし、孤立して自宅避難している人もいて、そういうところに支援の格差が生じてしまう懸念はあります。

——インフラはどうでしょうか？

近藤 電気は戻りつつありますが、断水が続いている。ハンガーゼロではこれまで10トントラック5台以上の水を運ぶお手伝いをしてきました。能登半島北部では断水が、この先数カ月は続くという見通しです。

——さまざまな団体が支援に入っていますが、今後も見据えてハンガーゼロの強みは何ですか？

近藤 東日本大震災以降、キリスト教界では地域ごとの災害ネットワークが立ち上がるようにな



七尾市に設けられた倉庫

り、今回も「能登ヘルプ」がリーダーシップをとっているので、ハンガーゼロは「能登ヘルプ」を応援する形で支援活動を行っています。そんな中で、ハンガーゼロならではの強みといえるものは、過去に支援地のベースの中心を請け負ってきた経験や、各地の教会とのつながりでしょうか。

今回も、10トン車で水を能登に届けることができたのは、以前からハンガーゼロとつながりがあった「FUKUSHIMAいのちの水」が水を届けたいという要望を知り、協力して現地のニーズにおつなぎました。また、届けられる物資の倉庫が教会だと対応に疲弊してしまったり、置ききれなかったりもあるため、教会とは別のところに倉庫（今は七尾にある）を借りるようにしたのもハンガーゼロが言い出したことです。置ききれないと物資を送ってもらうのを断ってしまうと、物資はもう必要ないと思われてしまうことを経験していましたからです。さらに、教会の再建についても、東日本大震災で津波で流された教会を募金により最終的に再建できたという実績があるので、今後ニーズがあれば同様のお手伝いもできます。

——毎年、世界食料デー大会を全国で開催していることも影響しているのでは？

近藤 それもあります。世界食料デー大会は、各地域の教会とハンガーゼロを日常的につないでくれています。現地で協力してもらった内灘聖書教会は、毎年世界食料デーの集会を行っており、昨年10月には私も訪れています。さらに同教会の酒井信也牧師は、ハンガーゼロ理事の一人です。震災直後の大変な時でありながらもすぐに快く受け入れてくれたのは、そういったつながりがすでにあったからだと思っています。

15日からハンガーゼロでは、第2チームが能登に行くことになっていますが、その時の宿泊先を提供してくれたのが「能登ヘルプ」代表の岡田仰さん。岡田仰さんが牧会する金沢独立キリスト教会です。この教会も以前から世界食料デー礼拝でつながっており、今回ハンガーゼロのベースを探していると伝えたら、すぐに教会の伝道所を自由に使ってよいと申し出てくださいました。たいへん感謝なことで、それは昨日今日ではなく以前から関係があつたからこそだと思います。

また、こういった災害が起きた時に教会が拠点となる建物や機能を十分持っていると改めて感じました。ただ、被災地にある教会がすべて支援のために動けるとは限らない。被災地のすべての教



10トントラックから水の荷下ろし

会が同じ状況ではなく、信徒に被害者を抱えてしまった教会と、そうでない教会とはやはり違ってくる。信徒が亡くなられたり不明者である場合、当然牧師の心も乱れるし、信徒の心のケアも必要になってきます。そういう教会に支援活動に加わってほしいとは言えません。

——能登の教会には高齢化という問題もありますね。

近藤 能登の被災した地域には全部で十数カ所教会が点在しますが、その多くは1950年代以降に聖書教会連盟の宣教師によって開拓された教会です。今では、どの教会も高齢化が進み、教会によつては礼拝人数が10人に満たないところもあります。地震の影響で集まる数はさらに減ってしまいましたが、それでも震災後の日曜日には、教会に集まり礼拝をささげていることが報告されています。

——今後のハンガーゼロの活動について教えてください。

近藤 ハンガーゼロは3月末頃まで、毎週スタッフを2人ずつ能登に送り、「能登ヘルプ」と連携し、ほかの協力団体とともに支援に取り組んでいます。それと同時に調査・視察もし、今後必要なものを見極めていく予定です。被災地の現状から、どのくらい長期にわたる支援が必要になるか分かりませんが、長期計画の最終目標は教会の再建だと思います。教会再建のためにも募金が用いられたらいいのではないかとも考えています。

——ありがとうございました。

* インタビューはYouTubeチャンネルで動画 (<https://bit.ly/3vV92H4>) でも公開中。

写真はすべてハンガーゼロ提供。

【月刊】キリスト教書評誌 本のひろば 2月号

■出会い・本人 父の本棚 小林よう子

■特集 シリーズこの三冊!

バイオエシックス／生命倫理でいのちと平和を考えるなら この三冊！ 木村利人

■本・批評と紹介

『シンボルで味わう典礼・礼拝』 加藤博道

『遠藤周作366のことば』 片柳弘史

『新約聖書の時代』 河野亮也

『かたわらに、今、たたずんで』 原敬子

『神の民の解放』 後宮敬爾

『宗教と病』 山吉智久

『聴 議長室から』 窪寺俊之

改題改訂新版『日本教』の極点』 木村庸五

『ウェストミンスター信仰告白講解 下巻』 坂井純人

●A5判・28頁・年1,300円(送込)

キリスト教文書センター 〒162-0814

東京都新宿区新小川町1-1 (03) 3260-6520 FAX

の黙示ハ ヨハ 録ネ

中村 準一 著

●定価2200円(税込)

A5判320頁

社会の分断と貧困。政治の混迷と戦争、金融バブルと崩壊。そして、自然災害に疫病の蔓延。これら終末的様相はどうすればよいのか。具体的な解説を試みる。

おんちゅう社
〒167-0035 東京都杉並区今川2-23-15
TEL03-3399-1288 FAX03-3399-3328

キルケゴールのキリスト論
鹿住輝之著
聖書通説の伴侶に最適。好評の旧約聖書と現代の文化脈で捉え直す後英の力作。
新約聖書中、牧会書簡と総称される文書群はパウロの名を借りたの関係でキルケゴールのヘーゲルの主義者との関係で書評が終巻。誰しもが「何かがおかしい」と感じはじめている。新約聖書は、どうすればよいのか。

本書が終巻。「ヨハネ黙示録」の名を借りたの関係でキルケゴールのヘーゲルの主義者との関係で書評が終巻。誰しもが「何かがおかしい」と感じはじめている。新約聖書は、どうすればよいのか。

新教出版社 TEL 03(3260) 6148
FAX 03(3260) 6198
〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1

「頼りすぎる信仰」から
「3つの義に基づく信仰」へ。

真の祝福にいたる

「キリストの救い」の奥義
ここがおかしい日本のキリスト教の勘違い

古山 バウロ 著
1680円(税込)

聖書のお話を子どもたちへ
石浜みかる著
小見のぞみ
聖書のお話を聞く伝わるお話をための3つのポイントや、お話を語り4ステップ、お話を5つのタイプ等、現場で役立つ待望の手引き書。

四六判・128頁・定価1,540円
A5判・240頁・定価3,300円

日本キリスト教団出版局
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
TEL03-3204-0422 FAX03-3204-0457
<https://bp-uccj.jp>(価格は10%税込)